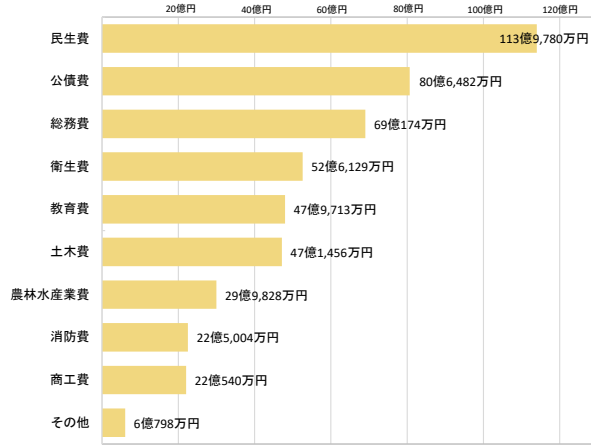


令和3年度 決算報告

皆さんから納めていただいた税金などがどのように使われ、どのように財政が運営されているのかを知ってもらうために、市では毎年2回財政事情を公表しています。

■目的別内訳■ 歳出は、目的別(どのような分野の行政サービスに使われているのか)からも見るすることができます。



- ★民生費・・・高齢者、障がい者福祉や子育て支援の充実などに使われたお金です。
- ★公債費・・・市の借入金返済のために使われたお金です。
- ★総務費・・・行政の運営や市税の徴収、広報紙の発行などに使われたお金です。
- ★衛生費・・・ごみ処理や保健事業などに使われたお金です。
- ★教育費・・・学校教育の充実や生涯学習の推進などに使われるお金です。
- ★土木費・・・道路や住宅の整備などに使われたお金です。
- ★農林水産業費・・・農林水産業の振興などに使われたお金です。
- ★消防費・・・防災や救急活動などに使われたお金です。
- ★商工費・・・商工業や観光の振興に使われたお金です。
- ★その他・・・議会費、労働費、災害復旧費です。

市民一人あたりでは、このくらいのお金が使われました

民生費	22万2,201円	公債費	15万7,224円	総務費	13万4,550円	衛生費	10万2,569円	教育費	9万3,520円
土木費	9万1,911円	農林水産業費	5万8,452円	消防費	4万3,865円	商工費	4万2,994円	その他	1万1,853円

(令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口51,295人で計算しています。)

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、国民健康保険特別会計など10会計があります。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険	61億2,988万円	59億7,896万円	1億2,402万円
後期高齢者医療	8億1,808万円	8億1,374万円	434万円
介護保険	92億2,807万円	90億2,277万円	2億2,580万円
小水力発電	2,703万円	2,703万円	0円
歌代の里	4億6,423万円	4億4,833万円	1,590万円
すこやか両津	6億7,555万円	6億5,194万円	2,361万円
五十里財産区	68万円	12万円	56万円
二宮財産区	258万円	161万円	97万円
新野財産区	300万円	290万円	10万円
真野財産区	371万円	307万円	64万円

◆公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計があります。

○水道事業会計

区分	決算額	
収益的収支 ^{※5}	収入	25億9,081万円
	支出	24億1,944万円
資本的収支 ^{※6}	収入	15億1,479万円
	支出	22億6,700万円

○下水道事業会計

区分	決算額	
収益的収支 ^{※5}	収入	34億6,524万円
	支出	34億2,324万円
資本的収支 ^{※6}	収入	17億1,027万円
	支出	24億5,532万円

○病院事業会計

区分	決算額	
収益的収支 ^{※5}	収入	16億6,414万円
	支出	18億5,299万円
資本的収支 ^{※6}	収入	5億4,240万円
	支出	4億9,055万円

※5 収益的収支 経営活動で発生する利益とそれに対応する経費です。
 ※6 資本的収支 将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業償還金などの支出とその財源となる収入です。

◆市債

市債は、市が大きな事業を実施した時などに借り入れたお金です。

会計名	令和3年度末現在高	
一般会計	502億6,315万円	
特別会計	1億3,968万円	
公営企業会計	水道事業	133億1,551万円
	下水道事業	180億3,164万円
	病院事業	4億1,276万円

◆市の財産

庁舎、保育園、小・中学校などの建物や土地、市の貯金にあたる基金などの状況は次のとおりです。

区分	令和3年度末現在高
土地	73,744,587㎡
建物	547,615㎡
山林	61,752,553㎡
有価証券	4億2,506万円
基金 ^{※7} 計	180億5,743万円

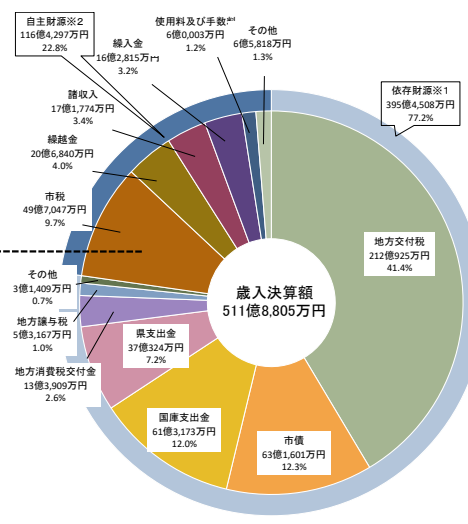
※7 基金 特定の目的のために積立て、準備しておく資金のことで、「教育文化振興基金」、「環境整備基金」などの基金があります。

◆一般会計

一般会計の決算額は、歳入が511億8,805万円、歳出は491億9,904万円となりました。

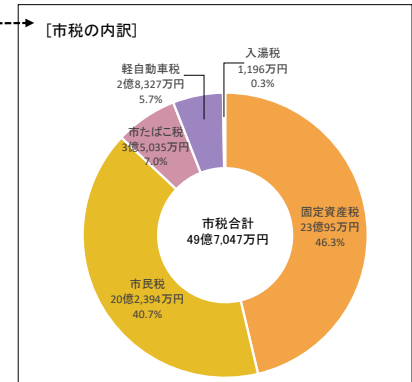
形式収支(歳入歳出差引)は19億8,901万円の黒字となり、ここから翌年度へ繰越すべき財源5億9,406万円を差し引いた実質収支は、13億9,495万円の黒字となりました。

＜歳入＞ 前年度に比べ22億2,950万円減額となりました。

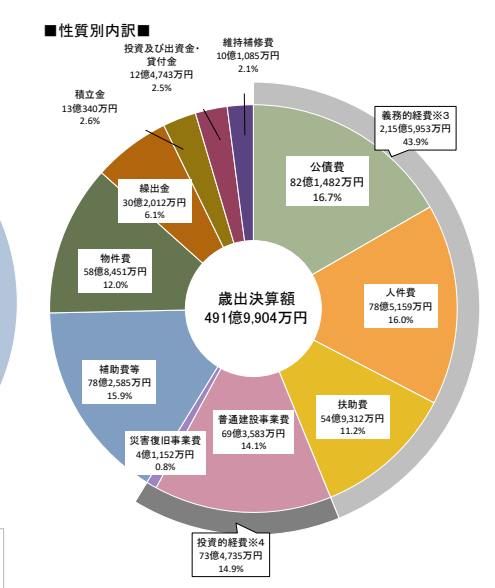


その他依存財源には、地方特例交付金(1億3,067万円)、法人事業税交付金(5,779万円)、環境性能割交付金(3,784万円)などがあります。
 その他自主財源には、寄附金(4億3,316万円)、財産収入(1億2,160万円)、分担金及び負担金(1億342万円)があります。

※1 依存財源 国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりするお金です。
 ※2 自主財源 市が自主的に収入することができるお金です。



＜歳出＞ 前年度に比べ21億5,011万円減額となりました。



※3 義務的経費 毎年必ず必要となる固定的な支出で、削減が難しい経費です。
 ※4 投資的経費 道路・学校・公共施設の整備など将来に残るものに支出される経費です。

性質別分類

- ★公債費・・・市の借入金返済のために使われたお金です。
- ★人件費・・・職員給料のほか、議員や非常勤特別職の報酬などに使われたお金です。
- ★扶助費・・・生活保護など社会保障に使われたお金です。
- ★普通建設事業費・・・道路・学校・公共施設などの整備に使われたお金です。
- ★物件費・・・消耗品や備品の購入、各施設の維持管理などに使われたお金です。

商工費	22億540万円
<p>■企業誘致・スタートアップ支援事業 870万円</p> <p>コロナ禍において地方移住への関心が高まっているこの機をとらえ、ベンチャー企業等の誘致や起業・雇用を創出するため、ビジネスコンテストを開催するなど官民連携による受入支援体制づくりに取り組みました。</p>	
土木費	47億1,456万円
<p>■安全・安心まちづくり事業 2億1,141万円</p> <p>道路及び河川等の修繕など、主に各集落(地域)からの身近で比較的小規模な要望に対し、広域的なバランスに配慮しつつ早期の工事発注で、市民の生活環境改善及び継続的な雇用の確保を図りました。</p> <p>高齢化で実施が難しくなった市道等の維持管理作業を、地元建設業者に請け負わせることで、受注機会も確保しながら業者のさらなる地域貢献を促し、高齢化地域の生活環境の維持を図りました。</p>	
消防費	22億5,004万円
<p>■救急救命対策事業 218万円</p> <p>救命医療の高度化等に対応するため、救急救命士を含む救急隊員の知識、技術を医学的観点から維持・向上させる体制の整備を図るとともに、救急講習を通じて応急手当の普及啓発を図りました。</p>	
教育費	47億9,713万円
<p>■奨学金貸与事業 2億6,876万円</p> <p>教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに、将来にわたる定住を促すため、奨学金の貸与を行いました。</p>	
新型コロナ対策事業	
<p>■住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 6億7,916万円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活・暮らしの支援を目的として、住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり10万円の給付を行いました。</p> <p>■子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 6億5,231万円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、18歳以下の児童を養育する保護者(所得制限あり)に対し、児童1人につき10万円を支給しました。</p> <p>■プレミアムどこでも商品券発行事業 2億7,961万円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、停滞した市内経済の活性化を図るため、市内の店舗で利用できる30%のプレミアム付商品券を発行しました。</p>	

お問い合わせ 財政課予算係 63-3114

皆さんから納めていただいた大切な税金は、
さまざまな事業で使われています

令和3年度に行った主な事業の取り組みをご紹介します

総務費	69億174万円
<p>■創業・事業拡大等支援事業 5億5,232万円</p> <p>特定有人国境離島地域における持続的な居住が可能となる環境の整備を図るため、雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者に対して、その事業資金の一部を支援しました。</p> <p>■世界遺産建造物保存整備費 2億5,850万円</p> <p>世界遺産に関連する文化財の保存と活用を図るため、その調査や修理、保存整備事業を実施しました。</p>	
民生費	113億9,780万円
<p>■障害福祉サービス費 13億6,115万円</p> <p>障がい児や障がい者が、その有する能力や特性に応じ、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの提供により障がい児や障がい者の生活を支援しました。</p> <p>■多子世帯出産成長祝金事業 3,549万円</p> <p>佐渡市に生まれた児童の誕生及び健やかな成長を祝うことに加え、多子世帯の子育てにかかる費用の経済的負担の軽減、移住・定住の促進及び本市の活性化に寄与することを目的とし、対象児童口を養育する保護者に出産成長祝金を支給しました。</p>	
衛生費	52億6,129万円
<p>■地域医療の人材育成・確保事業 1億267万円</p> <p>市内における医療技術者を確保するため、市内の医療機関に従事する意思があり、医療技術者養成校に進学する学生への奨学金の貸与、及び看護師等の医療技術者への就業・定着支援事業を行いました。</p>	
農林水産業費	29億9,828万円
<p>■生物多様性戦略推進事業 2,255万円</p> <p>GIAHS認定10周年記念フォーラムや田んぼアートなどのイベントを通じ、市が取り組んでいる地域全体で生物多様性を高める活動を発信したことで、「トキと共生する佐渡の里山」の認知度向上につながりました。</p>	